

# 新庁舎建設通信 第19号 令和8年2月10日



## 郵便について

### 郵便料金計器のイメージ



郵便物の発送について、これまで総務グループにおいて郵便物の重量を測り、重量ごとの通数をカウントしたうえで、毎日郵便局に報告しておりましたが、新庁舎では、業務の効率化を図るため、「郵便料金計器」の導入を検討しています。

「郵便料金計器」とは、郵便物の重量を自動で測定し、切手に代わるスタンプを封筒へ直接押印する機器のことで、押印した郵便物は、そのまま発送でき、毎日の報告も不要となります。

※同一内容の大量発送については、今までどおり「料金後納郵便」での対応を予定しています。

「郵便料金計器」及び郵便棚については、1階の郵便室へ設置する予定です。

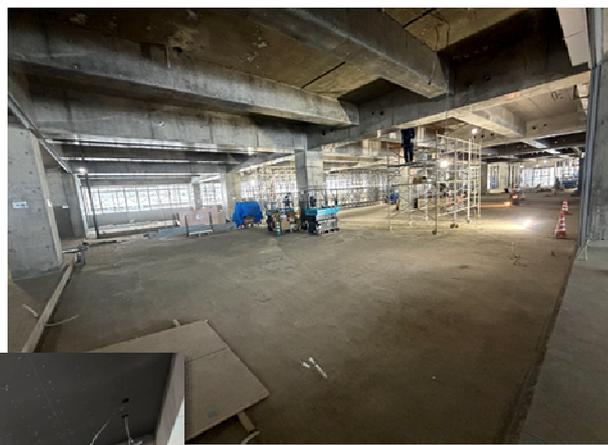


## 現場から

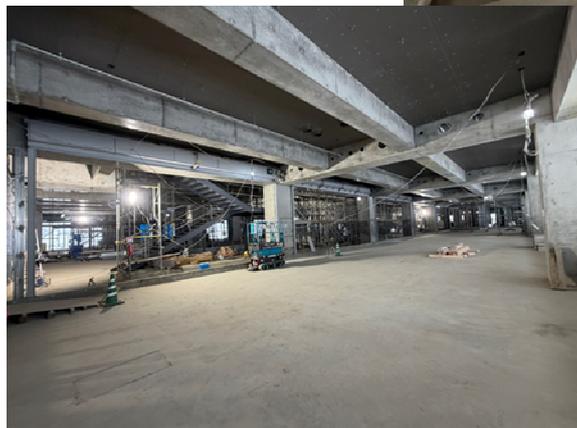
現場では、各部屋の形が徐々に見えてきています。

執務エリアは大空間となっており、柱間隔は約9mとなっています（現庁舎は概ね5～6.5m）。

日中は窓や天井部分から外光が差し込みますが、照明機器類には明るさセンサーが搭載されており、室内の照度は外の明るさに応じて自動調整されます。



1階執務エリアの様子



新庁舎についてのご意見・ご質問がありましたら、本庁舎整備推進グループまでお願いします！

総務部本庁舎整備推進グループ